



Vol. 46 2020. 2. 27

諦めないで！やりたいこと！

NPO法人六星代表理事 斯波千秋

人は誰でも世の中の人達が楽しんでいることを自分もやってみたいと思うものです。しかし見えないとか手足が不自由などの特性があると「やりたい」と思う事さえ諦めてしまいます。私達は「諦めないで！」と声を大にして訴えます。「やりたい」ということを「どうやったらできるか」と考え、道具の工夫、ルールを少し変え、また「見えない人」ではなく「よく聴く人」と言い方、考え方を変えることでみんなと一緒に楽しむ事ができるのです。

昨年二月に静岡県初のブラインドサッカーチーム「FCコレチーボ静岡」が結成され、ウイズ蜷塚が拠点です。コートのサイドラインを壁に変え、シヤカと音の出るボールをゴール裏のコーラーの声、そして味方と相手選手の掛け声を頼りにボールを取り合い、最小限の声かけでコミュニケーションを取り合いい、ドリブル・パスをつなぎ、ゴールへ蹴り込むのです。弱視も晴眼も男も女もみんなが「よく聴く人」になって一緒になってプレイをします。

多くの中途失明の人が一大決心をしてブラインドスポーツに挑戦することで、工夫することを知り、失った自信を取り戻し、見えない（よく聴く）人として社会の中で生き直しをします。ウイズは仕事をするを通して工夫し、できることを増やしています。何かに挑戦することで諦めない人生を歩み出すきっかけになります。これが視覚障害リハビリテーションなのです。今年の夏は挑戦する人達の思いで東京オリパラで一層熱くなる事でしょう。

近況報告 〈ウイズ半田〉

サービス管理責任者 金谷 淳子

ウイズ半田では、新しい年を迎えてまもなく、予定している増築にむけた解体工事が始まりました。解体する建物は、平成8年の開所当時からあるもので、今のウイズ半田ができるまで作業室として使っていた所です。10数年間の思い出がいっぱい詰まった場所がなくなることは、当時を知っている者にとっては感慨深いものがあります。

そして、2月からは増築部分の工事が始まっています。利用者の皆さん一人ひとりが、自分らしく、やりがいを感じられる時を過ごすことができる環境を作りたい、という思いが、大幅な増改築という形になりました。もちろん、大きな資金が必要です。今回の工事費用の一部として、「ウイズを支える会」から多額の支援金をいただきました。会員・支援者の皆様が、私達の活動にご賛同くださり、毎年、会費・寄付金としてお納めくださった大切なお金を今回の増築事業に使わせていただくことになりました。改めて心より御礼申し上げます。

思えば、20数年前、浜松市の補助金だけで運営していた頃は、職員の給与も足りず、若い職員の定職がままならない時期でした。その当時も、支える会から援助で、新卒の男性職員（今の蛸塚施設長）が1年間の歩行訓練士の研修を受けるため、その間の給与を補助していただきました。その後も、ウイズ蛸塚の新設、半田の増築、とウイズが1歩1歩前進できた背景には、いつも支える会の皆様のご支援がありました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、ウイズの理念・思いを繋げていきたいと思っています。

さて、半田では、2月からしばらくお休みしていた仲間が復帰し、19名とアイメイト1頭となり、工事の音にも負けない賑やかさです。2019年度は、3年ぶりの点字電話帳の印刷があったり、下請け作業にも追われるなど忙しい日々でしたが、仲間も職員も皆健康で、奮闘した1年でした。来年度はウイズにとって、事業の拡大に向けての土台を作るステップの年、また8月末には新しい建物の完成も加わり、ワクワクした年になりそうです。みんなで思いを共有し、ワンチームで力を合わせていきます！

近況報告 〈ウイズ蛸塚〉

サービス管理責任者 古橋 友則

現在蛸塚の登録者は32名、一日の平均利用者数は19名ほどになりました。12年前の開所時に比べ1.5倍ほどに増え、日々にぎやかに作業やレクリエーションをしています。

当然ながら作業の種類も利用者さんの増加に伴い増えてはおりますが、新しい商品を開発すること、またそれを販売することはなかなか難しく、利用者さんの意見を取り入れながら職員も日々奮闘しております。

そんな中、新たな作業として昨年から和歌山県にある食酢、日本酒の蔵元「九重雑賀」様の商品ボトルの首掛けラベルに点字印刷をするお仕事をいただいています。この取り組みは2015年より行われているのですが、いままでは東京の団体が行っていたものをウイズが昨年から引き継がせていただいています。従業員十数名の決して大きな会社ではないにもかかわらず、「視覚障害者の方々の生活が少しでも改善されれば」という思いから導入してくださっており、またこの取り組みが自社のオリジナルにとどまるのではなく、他社にも広がっていくことを望んでおられると聞き、大変うれしく、またこのような取り組みにウイズも関わらせていただけることに深く感謝しています。

名刺のほか、クリアファイル、自動販売機、エレベーターなど、ウイズでは様々なものに点字を入れる仕事をしてきました。ぜひ興味のある方はご相談ください。お待ちしております。

☆ ★「ウイズを支える会」への入会のご案内★ ☆

「ウイズを支える会」では、会の目的に賛同し、継続的にご支援下さる会員を募っています。
年会費は個人会員 1口 2,000円、団体(法人)会員 1口 10,000円といたします。

口座名 「ウイズを支える会」 郵便振替口座 00820-5-71197

“ウイズ歴史の一片”

NPO法人六星 理事 永井 昭^{しょう}

ウイズが“NPO法人六星”を取得してから11年、無認可時代の“小規模授産所”ウイズから数えて23年目の春を心からお祝い申し上げます。

原稿を依頼されたときに先ず思い浮かんだことは、斯波さんがウイズを設置するために訴えた『江戸時代より視覚障害者の専門職として保護されてきた鍼・灸・マッサージ（3療業）も、大正時代には職業選択の自由により、晴眼者と視覚障害者の数が約同数になり、今では晴眼者が80%、視覚障害者が20%となっている。

平成5年アンマ・鍼・灸師法の改正により国家資格へ移行したため、視覚障害者の免許取得が非常に困難になってしまった。三療業（もう死語になっているかもしれません）が視覚障害者のための職業として保護されていたため、職業開拓が遅れているという現実と直面し、視覚障害者のための自立と社会参加促進のため、新しい職業について真剣に取り組まなければならない。』という思いでした。

平成5年、近隣地域の視覚障害者を中心に、白杖作りや点字、パソコン教室などを開催するなど地道に活動しながら職業開拓へ取り組んできたことが、視覚障害者の福祉向上のための礎となった事はいまでもありません。

地道にこの活動を支えて下さった方々の筆頭は、何といたっても奥様でしょうか。何せ旦那様は紐^{ひも}のような存在でしたから（ひたすら作業所作りに専念されたがため、稼ぎのない夫を支え続けたのが奥様で、俗にいうヒモとは若干違う）…。そして、この活動にほれて飛び込んできたうら若き青年古橋友則氏を語らずしてこのストーリーの続編はないかもしれません。勿論、支える会の島津祐策氏の存在が歴史の根底にあることは申す迄もありません。いずれにしても、多くの方々に恵まれ今のあることに敬意を表しペンを置かせて頂きます。

※永井さんは、(社福)復泉会（くるみ）の理事長。県西部地区で初めて小規模授産所を開設し、障害のある仲間たちが地域であたり前に働く生活ができる場、そして安心して生活できる場など、様々な事業や活動を展開し、地域福祉を開拓してきた先駆者のお一人であります。

視覚障害リハビリテーション訪問記 歩行訓練士 古橋 友則

昨年11月に古橋暁さんが入職し、ウイズの歩行訓練士も再び3名体制になりました。現在はまだ古橋、岩本に付いて実習をしていますが、何より女性の訓練士が入ってくれたことは、訪問を中心に行っている事業の性質上、大変貴重であります。一日も早く現場に出られるようサポートしていくことが我々の大事な使命だと思っています。

私も15年以上前に歩行訓練士の養成研修を受けたときには、東海地域の諸先輩方のところを回り実習をさせていただきました。そのときに「あなたの支援を受けた視覚障害者にとって、あなたは最高の歩行訓練士でなければならない」という厳しい言葉をいただき、今も私の中の礎となっています。

また我々が行っている生活訓練は、社会の変化や機器の進歩により日々変化しており、新人訓練士から最新の情報を得たり学ぶことも多くあります。経験を積むことは自信にもつながりますが、それが驕り^{おご}とならないよう、常に新人訓練士と同じ心構えでいたいと気持ちを新たにしました。

ウイズ蛭塚と自治会のきずな

蛭塚二区自治会 会長 池端 昭男

ウイズ蛭塚が誕生してから早いもので12年が経過しました。

市営住宅が取り壊され、その跡地利用問題では、市の負債補填のため土地を売却したい旨の説明を受け、地元蛭塚二区として早急にまちづくり協議会を立ち上げ、町の景観を守り住みよいまちづくりのため新築家屋の高さ制限や危険箇所の点検を行うと同時に、跡地が売却されると見晴らしの良い大地に高層マンションが建設される可能性が高く、そのことにより日照権や交通量の増加など、地域として容認できない旨の意見を取りまとめ市に申し入れ了解をいただいた経緯があります。そして道路の南側は福祉ゾーンと位置づけ、ウイズ蛭塚が平成20年3月23日に竣工式を、慶成会しじみづか福祉の杜デイサービスセンターが6月にオープンすることになりました。

道路を挟んで北側は崖に面しており、建物が建てられなくて地区内唯一の市民公園として蛭塚ふれあい公園が誕生しました。

発足当時から公園を中心に色々なイベントが開催されてきました。特に福祉まつりは、地元だけではなく広く近隣からも大勢の方々が参画され、年々地域のイベントとして集客力が増し、今後益々各方面から期待や要望が寄せられる事と思います。

ウイズ蛭塚は、蛭塚二区の核として順調に、そしてしっかりと足取りで地域住民との相互信頼が図られるようになり、自治会活動にも積極的に参加していただいております。自治会としても相談や支援を惜しまず、末永くおつき合いをお願い致します。

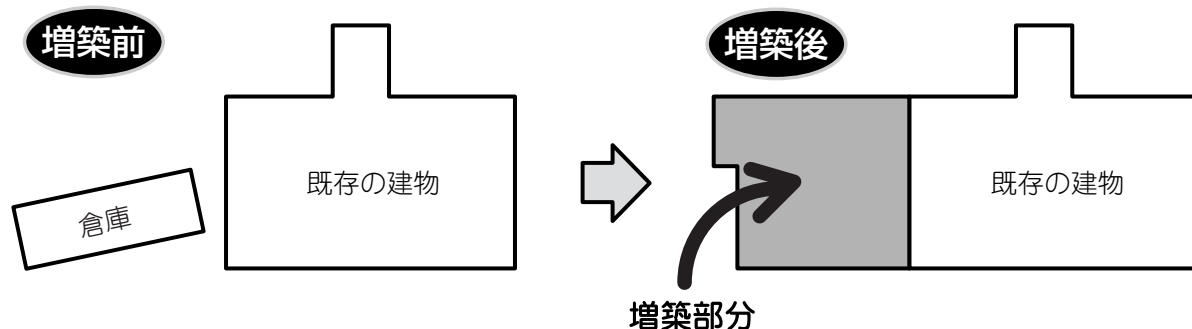
ウイズ蛭塚・ウイズ半田の今後のご繁栄と利用者各位のご活躍を御祈念申し上げます。

ウイズ半田増築します！

この度、ウイズ半田では建物西側の倉庫の解体と作業をしている建屋の増築をすることになりました。建替えから10年以上が経ち利用者さんも増え作業室が手狭になってきたことと、倉庫の老朽化に伴い解体・増築することにしました。今年の8月末完成予定です。

現在は倉庫の解体が終わり、建物の基礎工事が始まっています。一時的に倉庫や駐車場の一部が使えなくなることで不便はありますが完成すれば作業室ができ、またお手洗いの数も増えるなど便利になるので完成が楽しみです。

(半田スタッフ 宮本)



ウイズ半田地域交流会

2019.9.22 (日)

今年で8回目の半田地域交流会が開催され、300名以上のお客さまに足を運んでいただきました。

会場には、唐揚げ、綿菓子、ポップコーンなどの模擬店やわなげ、ヨーヨー釣りなどの縁日コーナーが並びました。やきたてがおいしいパン屋の風曜日さんやカレーが人気のグレース工房さんも出店して下さり大盛況の1日でした。

毎年人気の流しそうめんは、例年通りたくさんのそうめんを用意してあったのですが、予定より早い時間に終わってしまいました。皆さんが楽しみにして下さっていることを改めて実感しました。来年はそうめんの量を増やしお待ちしておりますので、お楽しみに！

今回もたくさんのご協力とご協賛いただき、無事終わることができました。皆様ありがとうございます。
(半田スタッフ 岡田)



毎年子どもたちに大人気のヨーヨー釣り！

楽しかった地域交流会

ウイズ半田 利用者 鈴木礼央^{れお}

多くの地域の方に、ポップコーンを購入していただいて嬉しかったです。

銭太鼓さんの踊りに合わせて、村田英雄さんの「皆の衆」、中村美津子さんの「河内おとこ節」、冠二郎さんの「炎」という曲と一緒に歌わせてもらいました。また、来年も参加したいです。

第12回蜷塚福祉まつり

2019.10.27 (日)



ウェンディさんとアイメイトのオリバーちゃんとス波さん！

近年の福祉まつりは、誰とは言えませんがウイズ職員で雨男がいる関係か神様のイタズラか、台風の影響で中止になったり、雨で規模を縮小して開催したりと思うような形になりませんでした。

さて今年も、例年通り2ヶ月程前から地元自治会と地域の皆様、関係団体と実行委員会を立ち上げ、準備を進めてまいりました。皆様のご協力ご支援のおかげと、おまけに晴れ男だと豪語するス波さんのお力のひと押しで、今回は無事晴天のもと開催することができました。

今回の販売ブースでは、ゆりかごさんの射的や点字ファイル作り体験、ボランティアの笹野さんの古着販売、お隣のしじみづか福祉の杜デイサービス（株HANK）さんのスムージーとスープ、更には足湯やワンコインマッサージ等の初出店がありました。またステージでは、恒例の抽選会、面白い楽器を使った参加型の「音で遊ぼう」に加え、こちらも初めての素敵な音色のハーモニカ演奏、続けてやると寿命が延びる?!「健康体操」、

ス波さんとウイズ半田ウェンディさんと盲導犬による「盲導犬デモンストレーション」が行われました。皆様楽しんでいただけたでしょうか。

ウイズ蜷塚職員といいますと開催日がハロウィンの時期だったため、古橋所長のわがまま?!…ではなく、強い熱意で黄色のTシャツ、黄色の帽子、デニムのズボン、おそろいのメガネをつけ流行りのミニオンズというキャラクターの仮装?!をやらせていただきました。会場の飾りつけも所々ハロウィン仕様にしました。来年はぜひ、支援者の皆様、地域の皆様も一緒に仮装で蜷塚福祉まつりを盛り上げてみませんか？

本当に多くの皆様のご支援とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。(蜷塚スタッフ 石塚)

蜷塚福祉まつりの感想

ウイズ蜷塚 利用者 縣 喜代子

晴天の下、福祉まつりが開催されました。見所の一つに、点字ファイルづくりがありました。少し難しかったです。一方、利用者のテントの中では、おしゃべりに華が咲いて、みんな仲良くなり楽しかったです。それから野菜売り場で、鎌倉さんと一生懸命野菜を売りました。それも楽しかったです。極めつけは最後お楽しみの大抽選会です。みんなワクワクドキドキで番号が読み上げられる度に歓声が上がっていました。来年も是非参加したいと思います。

♪今年もわいわい楽しく♪ クリスマス会

&感謝状贈呈・永年勤続表彰

昨年12月19日呉竹荘にて86名の“あわてんぼう”によるクリスマス会が行われました。

受付には、ウェルカムボーイズ&ガールとして4人のサンタさんが皆さんを賑やかにお出迎え。クリスマス気分を盛り上げつつ会場へとお誘いしました。

前半は、長年にわたりお世話になっている方々へ感謝状の贈呈と永年勤続表彰、後半はゲームやウイズ半田の1日を追ったスライドショーほか、ワクワク楽しい時間を過ごしました。

今年は新しいことをやってみよう！と思い、交流を深めるため各テーブルごとに自己紹介ゲームをしたり、利用者さんと一緒にメッセージカード（ネームカード）を書いたりしました。プレゼント交換ではスペシャルゲストに“まいう〜”でおなじみの石ちゃん？が登場し会場を盛り上げてくれました。

クリスマス会に参加してくださった、石ちゃん、サンタさん、皆様ありがとうございました。また来年会えるのを楽しみにしています。



ウェルカムボーイズ&ガールのサンタさんたち
「いっぱいハートを届けました！」

（半田スタッフ 岡本）

..... 永年勤続表彰者感想

5

ウイズ半田 利用者 **浅風 佳子**

私は、2014年の6月頃からウイズでお世話になって、早いもので5年が経ちました。最初はなかなか慣れなかった仕事も少しずつ慣れてきて、今では新しい仕事もやっています。スタッフの皆さん、利用者の皆さんこれからもよろしくお願いします。5年表彰本当にありがとうございました。



左から中村さん、吉山さん、浅風さん
「みんな がんばったね！」

10

ウイズ半田 利用者
吉山 芙由実

10年間ありがとうございました。表彰でもらった記念品を1月から使い始めました。これからも頑張ります。

10

ウイズ半田 利用者
中村 広実

10年間ボール洗浄と名刺印刷を頑張ってきました。バスと電車でウイズに通っています。大変だった仕事は昔やっていた歯ブラシ入れの仕事です。これからも頑張ります。

10

ウイズ半田 利用者
佐藤 昌志

僕は今ウォーキングを頑張っています。これからも自分の好きなことをがんばっていきたいです。表彰ありがとうございました。

● 花を通しての出会いに感謝！

ウイズ蛭塚 ボランティア 笹野 里美

大好きな花を通して、ボランティアをさせていただき、とても充実しているうえに、このような立派な感謝状と花束をいただきありがとうございました。

「ウイズ蛭塚の花壇の隣りで花を販売させて下さい」と思い切ってお話したら、「どうぞ、どうぞ」と快諾して下さいました。花の苗、野菜の苗、寄せ植えの鉢など私の育てたものを販売しています。

そして、ウイズの花壇も少しずつ手入れをしています。ハーブを中心に育てて、皆さんに香りを楽しめるように心掛けています。

早朝、犬の散歩でウイズ蛭塚まで行き、花の水やりと花壇の草取りをやっています。なので、ウイズの皆さんには、クリスマス会、餅つき、蛭塚福祉まつり等のイベントや花の納品の時ぐらいしかなかなかお会いできません。でも皆さん「顔を見かけたら声をかけて下さい」と嬉しいことを言って下さいます。

花を通して、ウイズの皆さんや地域の皆さんとも親しくさせていただき幸せです。これからもよろしくをお願いします。

※笹野さんはウイズ蛭塚の近隣の方で、長年にわたり花壇の手入れや、無人販売やイベントの協力をして下さっております。

● ウイズ様の介助体験を通して思うこと

ボーイスカウト浜松第24団

やま や ひろし
山屋 宏

ウイズ様との関係は前団委員長 宮分 実 氏の時に始まり、はや約23年になるでしょうか。ボーイスカウト活動に於いては野外活動の中で青少年を育成するという育成基本方針の中、「他の人を助ける」という精神が根底にあります。毎年、街頭募金活動を行っており、各団体に寄付を行ってきました。寄付が見える形にしたいとの方針のもと、設立間もないウイズ様への寄付が始まりました。ボーイスカウト活動の中でもウイズ様のハイキングに参加させていただき、目の見えない人の介助方法等の体験をさせていただきました。目の見えない方の接し方を学ぶことで、私自身も街中で見かけたら声かけをしている自分を発見しています。JRみどりの窓口で駅員さんから呼ばれているのに空いている受付の場所が判らず躊躇している様子の方が遠くから見て取れました。思わず駆け寄り窓口へ連れて行った経験（その時訓練で行っていた方法で付き添いを実践していた）等、自然に行動出来た事に私自身驚きました。目の見えない人に限らず障害を持つ人に一寸した声かけや手助けが自然に出来る形に繋がります。子供達には是非とも体験させておきたい内容です。これからもお付き合いをさせて頂きたいと思っております。



ハイキングの時、
付き添いの方法を学びました。

※ボーイスカウト浜松第24団の皆様には、長年にわたり毎年街頭募金で集めたお金をご寄付いただくほか、地域交流会などのイベントでご協力いただいております。ご都合がつかずクリスマス会当日は欠席されましたので後日感謝状を贈らせていただきました。

お願い

布ぞうり材料のご提供を !!

綿100%の浴衣・手ぬぐい

中古着等でもかまいません、ご協力をお願いします！

反物大歓迎！

ご協力を
お願いします！

お問い合わせは ウイズ蛭塚まで TEL(053)489-5560

ICT事業

8月3日の「新聞を読んでみよう」の体験会に続いて、10月16日(水)にICT機器を生活の中で活用されている当事者の方によるリレートーク企画、12月14日(土)には他地域のICT支援事業を実践している団体の方を招いてシンポジウムを浜松市福祉交流センターにて行いました。両日ともに会場がいっぱいになるほどに参加者があり、ICT支援事業に対する期待の大きさを感しました。

ウイズでは、見えない・見えにくい方がスマートフォン、タブレット端末、音声パソコンなどのICT支援機器を触って練習できる場所を、2021年4月開設を目標に浜松市内中心街につくる計画を進めています。「自分にも使えるのかな…?」「練習できるのかな?」といった不安を解消できる場所をつくっていきたいと思います。

これはウイズだけでできることではなく皆様のお力が必要です。皆様の声がとても大きな力となります。どうぞよろしくお願いいたします。
(蜷塚スタッフ 岩本)

ICTに挑戦!

ウイズ蜷塚 利用者 山下 ^{たかし} 隈

ICTなど、私には関係ないと思っていました。しかし、近年スマホやiPadを使って情報収集しているなどの話題が多く、講習や情報交換会もあちらこちらで開催されていることをよく耳にし、携帯電話もガラケーのサポートが無くなる等のニュースが飛び交っていて、時代に乗り遅れてしまった私も、何とかしなければと思っていました。その矢先に、ICTシンポジウムの開催や、ウイズでもICTの利用方法の講座・研修の場所を開設されることを聞きました。この機会を逃したらチャンスはないと、年末に思い切ってiPhone11に乗り換えました。令和2年は、なんとかiPhoneを使いこなせるようになるという目標ができました。そして、それにはウイズの教室の一刻も早い開設を望んでいるところです。

🌾🌾🌾🌾 ウイズ農園だより 16

昨年末、職員数名で草刈り&草集めを行いました。秋からサボっていたせいで畑は大量の枯れ草でいっぱいでしたが、力を合わせてなんとかやり切りました。職員が揃って畑に出ることは普段ないのでこういうのもたまにはいいな~と思いました。

それはさておき肝心の作物ですが、大根、玉ねぎ、スナップえんどうが現在植わっています。大根は毎日お味噌汁に入れておいしくいただいています。玉ねぎは3月ごろ、スナップえんどうは5月ごろに収穫を予定しています。春にはプランター栽培も予定しています。これから何を植えようかな~。

(半田スタッフ 宮本)



今年もダスキン研修生がウイズにやってきました!!

私のウイズの個別研修

ダスキン研修生 アリ・トミー ヘーゼルマン（通称：アリ）

わたしは、ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成事業の21期生のアリです。わたしは南太平洋の国のサモアからきました。わたしは生まれたときから視覚障害です。

去年の9月から日本にきました。それから今年の1月10日～22日までウイズで個別研修をし、視覚障害の支援の方法をならいました。それから、いろいろな仕事とスポーツの体験をもらいました。

ブラインドサッカーの体験は、行く前はこわかったです。でもそのあととてもたのしかったです。サモアはブラインドサッカーはありませんからサモアに帰ったら紹介します。

それから、ウイズ半田で白い杖の作り方の体験をしました。はじめのときはとても大変でした。でも少しずつ作ることができました。白杖をつくるときいろいろな工夫をつかっています。工夫はとてもだいじなことです。それから、封筒と名刺に点字の印刷する仕事の体験をしました。ウイズの大切な考え方は、いろいろな工夫をつかうと視覚障害の皆さんはいろいろな仕事をすることができます。

それから、盲学校の先生にプレクストークとブレイルメモの体験をもらったり、校長先生にたくさん質問をしました。

一番最後はウイズ蛸塚で紙と箱の作り方を体験しました。そして名刺のノッチの作り方をならいました。その体験はサモアでつかうことができます。

ウイズの利用者さんとスタッフたちはとても親切です。ス波さんはとても親切です。ウイズは「いっしょに」はとてもだいじなことです。

それから、わたしはいろいろな浜松の食べ物を食べました。たとえば、鰻とうなぎパイとwild bore（猪）をたべました。とてもおいしかったです。

わたしはウイズの経験を全部サモアで紹介します。

（※アリさんは日本語で原稿を書いてくれましたが、一部漢字変換と添削をしています）



幸枝さん(左)が製作のネックウォーマー。アリさん(右)のお気に入りです!

あなたの名刺に点字を入れてみませんか!!

浜松太郎
.....

浜松次郎
.....

浜松三郎
.....

ウイズ半田・ウイズ蛸塚では、毎日毎日点字名刺印刷をやっています。
是非、見にいらして下さい。

☎ お問い合わせは 半田 053-435-5225 または 蛸塚 053-489-5560 まで

2019年

～ ウイズの活動記録 ～

《2019年8月～2020年1月》

8月

- 3日(土) ICT講習会「新聞を読んでみよう」
- 5日(月) 浜松視覚特別支援学校
寄宿舎レクチャー
- 7日(水) こども支援センター見学来所
- 10日(土)～15日(木) 夏期休暇
- 21日(火) (蛸塚) 流しそうめん&カラオケ大会&
引きコーヒー
- 22日(木)～9月20日(火) (蛸塚) 健康診断
- 31日(土) 開所日
(蛸塚) ボルダリング体験(富士宮市)

9月

- 11日(水) イオン幸せの黄色いレシートキャン
ペーンPR活動
(イオン浜松市野店・イオン浜松西店)
- 12日(木)～27日(金) (半田) 健康診断
- 17日(金) (蛸塚) 誕生会(プレ葉ウォーク)
- 20日(金) (半田) 防災訓練
- 22日(日) 半田地域交流会
- 25日(水) 田辺さんバイオリンミニ演奏会
支える会役員会
- 24日(火)～27日(金) (半田) 健康診断
- 29日(土) 有玉小学校バザーにて販売

10月

- 4日(金) ふれあいスポーツレクリエーション大会
- 5日(土)・6日(日) 西遠女子学園祭にて販売
- 8日(火) (蛸塚) 萩丘小学校交流会
- 11日(金) イオン幸せの黄色いレシートキャン
ペーンPR活動
(イオン浜松市野店・イオン浜松西店)
- 13日(日) 山神社まつりにて販売
- 16日(水) ICT講習会(福祉交流センター)
- 19日(土)・20日(日) 津田塾大にて販売
- 20日(日) 労福協まつりにて販売
- 22日(火) 開所日
- 25日(金) 半田誕生会(遠鉄百貨店ショッピング・
ラフェスタ)
- 27日(日) 第12回蛸塚福祉まつり

11月

- 1日(金) (蛸塚) 防災訓練
- 2日(土) 六葵祭(浜松視覚特別支援学校)にて販売
天竜協働センターまつりにて販売

- 5日(火) 掛川市社会福祉協議会より見学来所
(半田) 浜松市実地指導
- 9日(土) ミズモト建学祭にて販売
- 9日(土)・10日(日) 長上協働センターまつりにて販売
- 11日(月) イオン幸せの黄色いレシートキャン
ペーンPR活動
(イオン浜松市野店・イオン浜松西店)
- 16日(土) 事業所フェア出展
- 16日(土)・17日(日) 積志・笠井協働センターまつり
にて販売
- 17日(日) 静視協・ビジョンサポート機器展(シズ
ウェル)
- 23日(土)・24日(日) 蒲協働センターまつりにて販売
- 24日(日) スマイルフェスタ(ソラモ)にて販売
- 27日(水) (蛸塚) 誕生会(浜松城公園・イオン浜松
志都呂店)
支える会役員会
- 30日(土) 開所日

12月

- 2日(月) Nポケジョブコーチ実習来所
- 5日(木)・6日(金) (蛸塚) 障害者週間啓発活動
(リベロママ蛸塚店)
- 9日(月) (半田) 防災訓練
- 10日(火) 六星理事会
- 11日(水) イオン幸せの黄色いレシートキャン
ペーンPR活動
(イオン浜松市野店・イオン浜松西店)
- 14日(土) ICTシンポジウム
- 18日(水) (蛸塚) 中区当事者支援研修会
- 19日(木) クリスマス会(呉竹荘)
- 27日(金) 大掃除・利用者仕事おさめ
- 28日(土) スタッフ仕事おさめ
- 28日(土)～1月5日(日)
冬期休暇

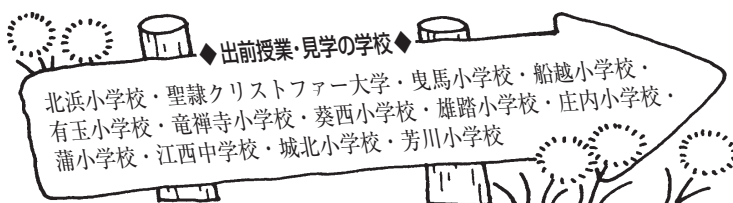


障害者週間 マム蛸塚店
店頭にてウイズ製品を配布

2020年

1月

- 6日(月) 仕事はじめ
(蛸塚) 初詣(五社神社)
- 10日(金)～22日(水) ダスキン研修生アリさん研修
- 19日(日) ふれあいフェスタにて販売 (サモア)
(福祉交流センター)
- 22日(水) 支える会役員会
- 25日(土) 作業所連合会わ静岡フォーラム(職員研修)
- 30日(木) (蛸塚) 誕生会(浜木綿・イオン浜松
志都呂店)
- 31日(金) (半田) 誕生会(可睡斎・凜や)



◆ 出前授業・見学の学校 ◆
北浜小学校・聖隷クリストファー大学・曳馬小学校・船越小学校・
有玉小学校・竜禅寺小学校・葵西小学校・雄踏小学校・庄内小学校・
蒲小学校・江西中学校・城北小学校・芳川小学校

NEW FACE

「ウイズと私」

ウイズ蛭塚 スタッフ 古橋 ^{あき} 暁

令和元年11月1日にウイズ蛭塚の職員となりました歩行訓練士の古橋暁です。

いつも兄の古橋友則とともに兄弟で皆さんには大変お世話になっております(笑)というのはウソで～す。古橋所長とは血縁関係はございません！ 冗談はさておき、私は中学の時に会った河合純一さんの著書「夢をつなぐ」「夢 追いかけて」を読んでからずっと視覚障害に関わる仕事に就く事が夢でした。そんな私が視覚障害者に関係深い「日本点字制定記念日」にウイズの一員になれたことは私にとって誇りであり、大変光栄な事です。

私はウイズに就職してから視覚障害者が持つ可能性や自身の課題を知ることができました。利用者さん達は1人暮らしをしていたり、ごく当たり前に料理や家事、仕事をしたりしています。趣味も多彩です。そんな多くの可能性を秘めている利用者さん達から生活の知恵や、時には漢字の読み方も教わっています。皆さんに感謝しています。

その一方で自分の未熟さも痛感しています。これから一生懸命知識や経験を増やしていきますので時には助けてください！

これからウイズの皆さんとはやりたい事を諦めず、アイディアを出し合いながら自分でできることを増やしていくことが私の目標です。これからよろしくお願いします。

編集後記

～ ウイズレターがお手元に届くまで ～



ウイズレターは年2回、8月と2月に発行されます。2か月半前から内容・レイアウトを決め、原稿を依頼し、タケムラ写植さんに形（組版）にさせていただいたものを全スタッフが校正を重ね、入稿（印刷OK）になります。ここまでは一般的な機関紙作成の作業ですが、ウイズレターは墨字版と点字版・音声CD版の3種類を製作しております。原稿が揃うと同時に、点字版の点訳が開始され、入稿と同時期にボランティアさんに音声版の録音をお願いします。そして印刷ができあがったら、支援して下さる会員の皆様や関係者・団体への発送作業を行います。それでようやく皆様のお手元にお届けできます。

点字版や音声版は、文章だけでなく写真などの説明も行います。恥ずかしながら私は、そのことをウイズに来て初めて知りました。「写真や図などを点訳・音訳し、わかりやすく表現をしたり、協力者のお名前の読み方を忘れずに聞く必要があったりと、視覚障害の方への配慮は当然だけど、それらは特別なことではなく他の場面でも当たり前にすべき」ということを先輩方に教えていただきました。そういう社会になるよう私たちも意識して勉強しなければならないと思いました。

今回の46号もご多用な中、ご寄稿くださった方々をはじめ、皆様のご協力のお陰で無事発行されましたこと心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
(蛭塚スタッフ 内田)

ボランティア



募集！



楽しいウイズの仲間たちと、ふれあってみませんか！

お気軽に半田・蛭塚のウイズにお声をかけて下さい！

内 容…作業やイベントのお手伝い、イベント時の利用者さんの誘導他、できることでかまいません。

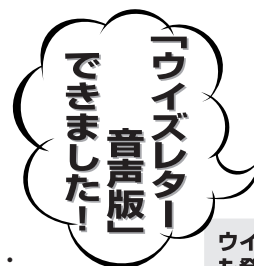


◆「ウイズを支える会」会費納入者・寄付者 2019年8月～2020年1月【50音順、敬称略】

(株)ステラ 毛涯弘子・伊藤一之・梅原慈香・恵美三紀子・大石久克・奥山芳章・小杉元久・佐々木幸弥・沢藤孝則・純・助産院 大地・杉浦巧倫・高濱悟郎・立花明彦・田辺藤祐・富岡正剛・仲井政雄・和子・野末孝夫・廣瀬賢子・藤田直子・松井幸代・三室洋子・望月優・横山邦彦

◆協力者・寄付者（物品寄贈・イベント含む）2019年8月～2020年1月【50音順、敬称略】

青島みち子・明山紫津子・あそしえ・渥美恭子・アマノ・有玉小学校・飯島すゝ子・イオン浜松市野店・イオン浜松西店・五十嵐正吾・池端昭男・池谷彰郎・石井第一眼科・石野清美・和泉芳・磯辺美保子・伊藤克斗・伊藤友治・伊藤美紀・いぬかい小児科・井ノ上和範・井ノ上美津恵・内山多紀子・江間みのり・恵美三紀子・えんあつて・大河原はる子・太田恵美子・大田直史・大谷文子・大塚和子・大矢悦子・岡村秀栄・岡本啓・岡本博美・小川善嗣・小澤哲男・海泉水産・笠原祥充・手作りパン工房 風曜日・かたりべの会・蒲小学校・カフェモルニ・神谷多美子・ガラ紡愛好会・ガールスカウト浜松24団・カワイ・川合悦郎・川本康子・北嶋たい・北浜小学校・浜松どうぶつ医療センター 木俣動物病院・木村眞智子・金原せい子・金原千加・金原モータープール・草川泰拓・久保陽子・久米一豊・久米喬枝・久米満大・グリーンボックス医大前店・グレース工房・ケーキ屋くんちゃん・コープさんじの店・小杉孝枝・小杉元久・こども支援センター・古山潤・近藤富美代・斎藤・佐々木幸弥・佐々木富子・佐々木睦美・笹野里美・笹本俊一・佐野由実子・シーホース・JFJ友の会・視覚就労生涯学習センター・敷島屋・蜷塚一区自治会・蜷塚二区自治会・ス波恵子・柴田文雄・ジブラルタ生命保険・島田江津子・清水宏光・下奥重望・助産院 大地・秀盛機工・白尾康子・菅沼光子・杉浦・杉山実佐・寿し半 藍路・鈴木いくえ・鈴木喜八・鈴木修一・鈴木翔太郎・鈴木大地・鈴木農園・鈴木のり子・鈴木宏孝・鈴木昌子・鈴木勝・須部かづ子・聖隷クリストファー大学 学生(井熊千遥、池谷美季、池谷あゆみ、岩尾和磨、河合萌華、木立晴菜、木村佑里南、倉田栞、清水夏樹、坪井円香、寺田季世、花村美咲、久田遥香、迎杏奈、米田萌実)・セブンイレブン浜松有玉西店・セブンイレブン半田町店・第一印刷・第一生命保険・大和リース浜松営業所・高塚三枝・高橋輝雄・高橋とみ子・高林あき子・高林芽依・高林直政・タケムラ写植・竹山富子・田中・田中恵津子・多々見クリニック・田中君江・田辺藤祐・中国四川料理 川龍・辻徹・鶴田満里・鶴見友紀・富田泰寿・豊崎ホテル 豊崎一雄・中井喜四作・中王子みのり・長坂養蜂場・長島陽菜・中田光洋・中道正子・中村愛恵・中村秀樹・中村ゆかり・名古屋ライトハウス・夏目厚司・なないろカフェ・浪川光代・根岸美智子・野嶋恵子・野末慶子・能勢陽子・橋本絵里・浜松有玉郵便局・浜松NPOネットワークセンター・浜松いわた信用金庫有玉支店・早川奈美江・HANK・番匠・平野二郎・福永貞巳・藤江有二・藤島クリニック・古橋暁・ボーイスカウト浜松24団・細田大介・細田とみ子・本間良子・松井敬子・松井幸代・まつぼっくり・松山耀典・間瀬樹生・丸一物産・ミカド・水野昇・南澤和子・三輪清・ミントの家・メイプルハウス・盲人福祉研究会・空屋健一・望月清子・森順子・八木良和・八木田牡蠣商店・山崎三郎・山田谷一・山本明子・山屋宏・夢プロジェクト 太田・吉田修一・吉山昌子・らくなーる・リベロママ蜷塚店・半田、蜷塚地域の皆様・匿名の皆様



ウイズレターは音声CD版も発行しております。ご希望の方はウイズまで連絡下さい。

● 第25回 ウイズを支える会総会のご案内 ●

日 時／2020年 4 月 11日(土) 13:30～16:30

会 場／浜松市福祉交流センター 4階 大広間

総会終了後、15:30から、赤澤典子さん（視覚障害）「挑戦する生き方」の講演を予定しております。お楽しみに！

◆赤澤典子さん：御前崎市出身。静岡盲学校から筑波大学付属を経て、清泉大学でスペイン語を専攻。盲導犬とともにスペインに留学。のちに資生堂に就職。現在は岩手県盛岡市在住。